

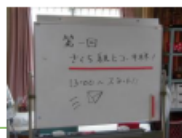
さくら便り

R 7 年 6 月号



◆ 第 1 回 さくら 紙ひこうき大会 !!

5月8日は紙飛行機の日です。「GO(5) HIGH(8)」と読んで「行け、空高く」と5月の青空に高く飛んで行く紙飛行機の飛ぶ姿を表しています。また、知的障害と白血病というハンデを背負いながら、多くの人に愛と勇気を教えてくれた紙飛行機が大好きな少年、井上健史君の命日にちなんでいます。デイサービスさくらでは第1回紙飛行機大会を開催。皆様自作の紙飛行機を一人ずつ飛ばし、飛距離を競い合いました!



◆ 施設外訓練 【加茂荘花鳥園】 6 月 初旬予定 !!

6月といえば梅雨の季節に入るため、じめっとしたイメージがあり少し憂うつな気分になる季節です。憂うつな気分を発散するため、その季節に見頃を迎える花々を鑑賞しに「加茂荘花鳥園(掛川花鳥園)」へ施設外訓練を予定しています! 加茂荘花鳥園は、桃山時代から続いている加茂家の庄屋屋敷です。屋敷の門前には1000平方メートルの広大な敷地に約600種50万本の花菖蒲が栽培・保存されています。5月中旬頃から園内の花菖蒲が一斉に咲き出し、辺り一面を花菖蒲の景色で彩ります!



◆ 毎年、GWに開催される浜松まつりが好天に恵まれ無事終了しました!!

「浜松まつり」子どもの誕生を祝う「初凧」の伝統

浜松まつりの特徴のひとつは、「都市まつり」ということ。東京の天下祭りや京都の祇園祭と違って、神社仏閣の祭礼とは関係ない"市民のまつり"なのです。浜松まつりの始まりは、一説によると今からおおよそ450余年前の永禄年間(1558~1569年)に、当時の浜松を治めていた引間城主の長男誕生を祝って城中高く凧を揚げたことが凧揚げの起源であると言われていますが、記録としては定かではありません。なお、記録に残っているものとしては、寛政年間(1789~1800年)の記録に凧の記述がみられます。「遠州のからっ凧」と呼ばれる強い風が吹くこの地は、気候的にも凧揚げに好条件であり、子どもの誕生を祝う「初凧」の伝統は、浜松まつりとして現在までこの地に根付いています。



〒435-0046

静岡県浜松市中央区丸塚町 522-2

株式会社 望実 デイサービスさくら

☎ : 053-411-5411 HP : <https://www.nozomi-sakura.jp>

Nozomi
株式会社 望実